

東区の見どころ

Part
1

東区の魅力的なスポットを紹介します。

1 モエレ沼公園

2023 年度
(令和 5)
年間入園者
82万人

市内最大の総合公園
イサム・ノグチが設計を手掛けた

1979（昭和54）年から1990（平成2）年まで、ごみ処理場として使用された土地に造成された公園です。広大な敷地には、「全体をひとつの彫刻作品とする」というイサム・ノグチのコンセプトの下、幾何学形態を多用した山や噴水、遊具などの施設が整然と配置され、自然とアートが融合した美しい景観を楽しむことができます。

春には桜が咲き、夏には水遊び場や噴水、秋には紅葉、冬は一面の雪景色の中でクロスカントリースキーやそり遊びと四季折々の魅力も楽しめます。



公園完成までの歩み

1988（昭和63）年に著名な彫刻家であるイサム・ノグチが札幌を訪れることになり、札幌市が同氏に札幌市事業への参加を要望。モエレ沼公園は、その候補地の一つでした。

イサム・ノグチは、既に建設が始まっていたモエレ沼公園に強い関心を寄せました。ごみの舞い散る大地に立ち、「人間が傷つけた土地をアートで再生する。それは僕の仕事です。」と言い、モエレ沼公園の計画に参加することを希望し、札幌市は公園の設計をイサム・ノグチに委託しました。

ところが、イサム・ノグチは、11月に公園の模型を完成した矢先、急病でこの世を去ってしまいました。モエレ沼公園を訪れて9カ月後のことでした。それでも、詳細な指示を受けていた建築家や造園家の協力とイサム・ノグチ財団の監修により、1989（平成元）年度から本格的な工事がスタートします。札幌市が最重要テーマとして掲げた「環境と文化」を具現化した公園は2005（平成17）年について完成したのです。



公園の下見をするノグチ（中央）



遺された2000分の1の模型



モエレ沼公園1-1





さとらんど
イメージキャラクター
ぐんぐん

2 札幌市農業体験交流施設 「さとらんど」

広大な敷地には、体験農園や花畑、道内最大級の木製アスレチック遊具広場、パークゴルフ場のほか、バーベキューができる炊事広場などがあります。

また、季節の新鮮な農作物の収穫体験やバター、ソーセージなどの手作り体験ができ、札幌近郊の農畜産物や加工品を販売するさとらんど市場も開設しています。

冬は、バナナボート、馬そり、そり山などのアクティビティーのほか、さとらんどの冬の魅力を生かした各種イベントが行われます。

園内には、縄文晩期から続縄文文化にかけての遺跡「丘珠縄文遺跡」があり、遺跡を活用した縄文体験や展示を通じた学習ができます。

都市と農業をつなぐ
田園テーマパーク



丘珠町584番地2 ほか





全天候型の
コミュニティドーム

3 つどーむ

屋外には球技場、テニスコート、イベント広場、パークゴルフ場があります。

イベント開催時には市内外から観光客が多く訪れます。

「さっぽろ雪まつり」の開催期間は、さまざまな雪のアトラクションが楽しめます。



栄町885番地 1



札幌の空の玄関口

札幌丘珠空港
マスコットキャラクター



オカちゃん



タマちゃん



4 札幌丘珠空港

道内6カ所、道外6カ所に就航しています。

札幌丘珠空港ビルには、お土産店や「札幌黄」を使用したメニューがあるレストランなど、楽しめるスポットもたくさんあります。



札幌丘珠空港ビル 丘珠町丘珠空港内



5 こどもの劇場 やまびこ座

人形劇や児童劇、人形浄瑠璃を公演するほか、舞台活動に関する育成講座も行っています。

子どものための専門劇場は全国的に見ても数少なく貴重な施設です。



6 美香保体育館

1972（昭和47）年に冬季オリンピックのフィギュアスケート会場として利用された歴史ある体育館です。
建物の塔部には五輪マークがあります。



夏季は体育館
冬季はスケートリンク



やまびこ座
キャラクター
やまびこ王子



北27条東15丁目1-1



北22条東 5 丁目1-1

